

創造・誇り・愛！ 輝く七中 煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 渡辺 政彦

学校だより 第11号

令和3年 3月 8日



# とらのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>



## 可能性を伸ばしていく考え方

校長 渡辺 政彦

春の気配を感じる時節となりました。保護者の皆様におかれましては本校へのご支援に心より感謝申し上げます。さて早いもので3月となりました。今年度を締めくくる最後の月となりました。学校では年度末をしっかりと締めくくり、新たな年度への準備をしているところです。

先月の朝礼では、自分の可能性を伸ばしていく考え方について話をしました。アメリカスタンフォード大学の心理学教授のキャロル・ドゥエック氏によると、自分の能力についてどう考えるかで、人は二つのタイプに分かれるそうです。一つは「人間の能力は生まれつきのもので、努力しても限界がある」と考えるタイプで“硬直マインド”といいます。もう一つは「人間の能力は意志と努力の力によって変えられる」と考えるタイプで“しなやかマインド”と呼びます。

この二つのマインドを比較してみると、硬直マインドの人は、周りの人に「よく見せたい」、自分の能力を周囲に証明したいと思う傾向があるので「恥をかくから、失敗したくない」と考え、「難しいこと、困難なことはやりたがらない」と行動にブレーキをかけてしまうそうです。一方、しなやかマインドの人は、能力は努力によって伸ばすことができると考え、成長することを目的に努力するので、たとえ失敗してもそれを成長へのチャンスととらえ、「次こそは…」と新たに挑戦しようとするそうです。

心理学の先生によると、小学生は“しなやかマインド”が多いのですが、中学校1年生の頃から“硬直マインド”が急増するそうです。原因としては、周りの人の影響で、「そんなの無理だよ」「夢みたいなことを言ってるんじゃない」という周囲の声に対して、自分自身「やっぱりそうだよな、無理だよな」思い込んでしまい、自分で制限をかけてしまうからだそうです。自分の可能性や能力を削ってしまうのか、伸ばしていくのかは自分の考え方によるということです。

この3月から4月にかけて、在校生は進級し、卒業生は新たな進路へと進みます。それは人生にとっても大きな節目にあたり、自分自身を変える大きなチャンスでもあります。考え方ひとつでこれからの人生が大きく変わります。自分の中に根拠のない限界をつくらず、自分の夢や目標に向かって努力をしてほしいと思います。

最後に、保護者及び地域の皆様へ。今年度は様々な教育活動が十分に実施できず大変残念な一年になってしまいましたが、子どもたちはやり場のない悔しい思いを乗り越え、前向きに頑張ることができました。これもまた、皆様の温かいご支援とご協力によるものと感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

## スクエアード・ストレイト方式による自転車交通安全教室

3月1日(月)の5・6校時に、校庭にて自動車安全教室を行いました。3年間に一度行われる市の行事であり、立川警察交通総務課から2名、立川市交通対策課、スーパードライバーズの皆様にお越しいただきました。前半は立川警察署の方から交通ルールや道路交通法などについての話、後半はスーパードライバーズのスタントマンの方による交通事故の再現を実際に見て、交通事故の恐ろしさを体感しました。

スタントマンの方々による実演は迫力と共に事故の怖さを実感するものであり、生徒1人1人が交通ルールやマナーを守ることや命の大切さを学べた貴重な機会となったと感じます。

交通安全教室の最後には、立川警察署の方が「3つのお願い」を話してくださいました。

「①事故に遭わない ②事故の加害者にならない ③自転車保険に加入しているか確認」です。各ご家庭におかれましては、お子様と交通安全や交通ルールについてお話いただき、また、自転車の保険のご加入も進めていただきたいと思います。



## 学年末考査(2月24日~26日)

令和2年度最後の定期試験が行われました。1・2年生にとっては現在の学年での最後、そして3年生にとっては中学校生活最後のテストでした。一人一人が真剣にテスト問題に取り組んでいました。

テストを通して、自己の学習の振り返りを行うことが大切です。次の学年における学習で良いスタートができるよう、苦手な分野はしっかりと復習してほしいと思います。



## 職業講話~副校長補佐の大塚さんが講師に~2学年(3月2日~)



職場体験が中止になってしまった2年生ですが、総合的な学習の時間を使って、仕事について(働くということについて)お話を聞く機会を設けました。本校で副校長補佐として勤務されている大塚 啓志さんに2年全クラスの講演をお願いしました。大塚さんは、七中に勤務する前は、最高裁判所の書記官として仕事をしていました。「試験に合格しただけでは仕事はできない」「法廷の立ち合いは舞台上に立つのと同じ」等のお話をいただきました。「教養を身に付け、信頼できる友人と切磋琢磨しながら一緒に成長してもらいたい」との力強いメッセージをいただきました。

## 立川市体育協会からの表彰

令和2年度のスポーツ活動の取り組みや競技大会等について、他の選手の模範となる立派な成果を収めた生徒として、以下の生徒が表彰されました。

- 陸上 T君(3年1組):第32回東京ジュニア陸上競技大会男子3年 走幅跳 第1位
- 卓球部 女子 東京都新人卓球大会(多摩地区) 女子団体 第2位  
Hさん、Mさん、Dさん、Kさん、Wさん、Wさん(以上3年生)
- 卓球部 男子 東京都新人卓球大会(多摩地区) 男子団体 優勝  
N君、H君、S君、K君、M君、M君、O君、S君(以上3年生)

**立川市教育フォーラム動画配信** 立川市のホームページ内の動画チャンネルにて、教育フォーラムの動画配信をしています。

本校生徒会本部のSさん(2年)とKさん(1年)の司会で今年度の立川市の教育活動について報告しています。ぜひ、ご視聴ください。